

# おっしょい

第73号

2026年(令和8年)  
5月発行

放送大学福岡学習センター・北九州サテライトスペース

## 新緑の季節に寄せて ～緑茶の色の科学～

本年度新たに入学された皆様、改めましておめでとうございます。また、在学生の皆様、本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。新学期が始まり約1か月が経ちましたが、学習センターをうまく活用できているでしょうか。センター職員一同、皆様の学びを全力で支援してまいります。それぞれの学びが順調に進んでいることを心より願っております。

さて、今年度より本機関紙「おっしょい」は年2回の発行となりました。限られた紙面ではありますが、その分、重要な情報は学習センターおよび放送大学のウェブサイトを通じて随時発信してまいります。近年、放送大学では、BYOD(面接授業での個人パソコン活用)、キャッシュレス決済の導入、各種手続きのデジタル化、さらには学習センター閉所日2日制など、学習環境の大きな変革が進んでいます。これらの新しい仕組みを有効に活用するためにも、ぜひ日頃からウェブサイトを確認する習慣をつけていただければと思います。

本機関紙の挨拶では、これまで意識的に自然科学的な話題を取り上げてまいりました。放送大学では人文・社会系の科目を中心に履修される方も多い一方で、自然科学の視点を取り入れることにより、よりバランスのとれた教養が身につくと考えているからです。

立春から数えて八十八夜の頃に摘まれる新茶は、古くから縁起の良いものとされてきました。そこで今回は、この季節にふさわしく「お茶の色」を題材に取り上げたいと思います。日本茶、特に抹茶や煎茶はなぜ鮮やかな緑なのでしょう。私たちはそれを当たり前のように感じていますが、実はこの緑色は、放っておくと失われてしまう繊細なものです。

緑色のもととなるのは、植物に含まれるクロロフィル(葉緑素)です。しかし、茶葉は摘み取られた後、そのままにしておくことで内部の酵素の働きによってクロロフィルが分解され、酸素の存在下で緑色から茶色へと変化します。何もしなければ、緑茶の葉は緑ではなくなり茶色に変色してしまいます。

ここで重要になるのが、日本茶の製造における「加熱」の工程です。茶葉を早い段階で蒸すことで酵素の働きを止め、色の変化を防ぎます。その結果、クロロフィルが保たれ、私たちが見慣れた鮮やかな緑色が生まれるのです。言い換えれば、日本茶の緑は「自然に残った色」ではなく、「人の知恵によって守られた色」と言えるでしょう。

このように、身近なものも科学の視点から見直すことで、新たな発見が生まれます。日常の中にある「なぜ?」に目を向けることが、学びの第一歩です。ぜひ皆様も、自分の興味を広げながら、多様な分野に触れていただければと思います。

今年度も福岡学習センターは、皆様一人ひとりの学びを支える拠点として、より良い環境づくりに努めてまいります。皆様の学びが実り多きものとなることを心より願っております。



福岡学習センター  
所長 久枝 良雄

### 目次

ごあいさつ.....	1	事務室からのお知らせ.....	7
客員教員のご紹介.....	2	キャンパスメール (Gmail) について.....	7
新任客員教員のプロフィール.....	3	通信指導の提出について.....	8
退任の先生からのメッセージ.....	4	単位認定試験について.....	8
講演会・セミナーについて		学生証の交付・更新、学割証について、学習相談	
客員教員によるステップアップセミナー.....	5	住所・電話番号変更手続きのお願い等.....	9
大学院入試のための英語ゼミ.....	6	九州大学キャンパス開放の開催について.....	10
		ご卒業おめでとうございます.....	11
		5月～9月のスケジュール.....	13

# 客員教員のご紹介

福岡学習センター・北九州サテライトスペースには、所長と14名の客員教員の先生が、学生のみなさんの学習をサポートしています。面接授業や講演会・セミナーの講師を担当するとともに、履修計画や学習方法、学習上の悩みや疑問など、学生さんの抱えている修学上の問題について学習相談を行っています。客員教員の先生方の出勤日は決まっていますが、変更になることがございますので、相談を希望される方は必ず事前に事務室にお問合せいただき、相談日時を予約してください。



小山内 康人 先生  
(九州大学名誉教授)  
専 門 地質学・岩石学  
出勤日 第2・4金曜 午後



金子 周平 先生  
(九州大学大学院准教授)  
専 門 臨床心理学  
出勤日 第1水曜午後・第3木曜午前



北澤 満 先生  
(九州大学大学院准教授)  
専 門 日本経済史  
出勤日 第2・4金曜 午後



合屋 伸一 先生  
(元福岡県立高校校長・元福岡県教育庁教育監)  
専 門 学生支援  
出勤日 第2・4木曜 午後



立花 宏文 先生  
(九州大学大学院主幹教授)  
専 門 食品機能学、生命化学  
出勤日 第2・4土曜 午後



谷口 秀子 先生  
(九州大学名誉教授)  
専 門 英文学、児童文学、ジェンダー学  
出勤日 第1・3木曜 午後



鶴野 玲治 先生  
(九州大学名誉教授)  
専 門 情報科学、コンピュータグラフィックス  
出勤日 第1・3金曜 午後



南里 豪志 先生  
(九州大学准教授)  
専 門 情報科学  
出勤日 第1・3土曜 午後



萩島 理 先生  
(九州大学大学院教授)  
専 門 建築環境、都市気候、都市環境  
出勤日 第1・3土曜 午後



堀野 出 先生  
(九州大学大学院教授)  
専 門 民事法学(民事訴訟法)  
出勤日 第2土曜午前、第3土曜午後



宮本 一夫 先生  
(九州大学名誉教授)  
専 門 東アジア考古学  
出勤日 第2金曜午後、第3水曜午後



村木 里志 先生  
(九州大学大学院教授)  
専 門 人間工学  
出勤日 第2・4土曜 午前



分部 利紘 先生  
(西南学院大学准教授)  
専 門 認知心理学、社会心理学  
出勤日 第1・2水曜 午前



山下 智也 先生 (北九州)  
(北九州市立大学教授)  
専 門 環境心理学、教育心理学  
出勤日 第1・3水曜 午前

## 新任客員教員のプロフィール

### 谷口 秀子 (たにくち ひでこ) 九州大学 名誉教授

プロフィール	九州大学名誉教授。英語圏や日本の児童文学やおとぎ話などをジェンダーの観点から研究しています。
趣味	以前は読書が趣味でしたが、本を読むことが仕事になってからは、これといった趣味がないことに気がつきました。現在、趣味を模索中です。
学生へのメッセージ	アニメやマンガを含む児童文学やおとぎ話は、社会を反映する鏡です。たとえば、児童文学には、ジェンダーが顕著に表れている作品もありますが、一方で、ステレオタイプ的なジェンダーを排して男女の協調を描き、ジェンダーの解消を目指す作品もあります。授業を通して、幅広い年代のみなさんの視点や知見に触れ、みなさんと共に学ぶことを楽しみにしています。

### 堀野 出 (ほりの いづる) 九州大学大学院 教授

プロフィール	大学生・大学院生時代を京都(同志社大学)で過ごし、四国(香川大学)での勤務を経て、2007年より九州大学法学部および法科大学院で教育に当たってきました(いつまで経っても授業は上手くなりませんが、改善に努めて参りたいと思っております)。
趣味	釣りが大好きですが、最近は思うように釣行できておりません。大相撲も好きで、小学生の頃(北の湖や輪島が両横綱の時代)からTVにかぶりついて観ています。
学生へのメッセージ	わたしの専門とする民事訴訟法は、法学部では「民訴」と略称されますが、講義をすると聴いているほうが眠くなるようで、古今東西を問わずどの大学でも「眠素」と揶揄されてきました。法は専門的なもので、専門用語を羅列すると退屈なものになりがちですが、わたしたちの普段の日常生活のどこにでも関係してくるものでもあります。そうした法の世界のもつ身近な親しみやすい面をお伝えできればよいな、と考えています。

### 北澤 満 (きたざわ みつる) 九州大学大学院 准教授

プロフィール	長野県千曲市出身で、長野では高校卒業まで18年間を過ごしました。その後、北海道での9年間(北海道大学経済学部、同大学院経済学研究科修士課程)、名古屋での5年間(名古屋大学大学院経済学研究科博士課程修了、その後助手を1年など)を経て、2005年に九州大学大学院経済学研究院に赴任しました。いろいろ移り住みましたが、福岡が最も長くなりました。
趣味	読書は半分仕事のようなものですが、特に専門である歴史に関わる小説を読むことが、息抜きになっているように思います。また、コーヒーを淹れて飲む(ペーパードリップや、ネルドリップで。時には焙煎もします)のも好きです。
学生へのメッセージ	私の研究分野は近現代日本経済史ですが、そのフィールドは、もっぱら石炭産業です。現在の日本ではほぼ滅びてしまっていますが、戦前期、および戦後復興期(1940年代後半)においては、まさに日本を支える屋台骨ともいえる存在でした。そのダイナミズムについて、三井・三菱のような大炭鉱から中小炭鉱まで、幅広く資料を検討し、考察しています。福岡は、石炭産業の中心地であったということもあり、皆さんに多少なりとも関心を持っていただけると嬉しいです。

## 退任の先生からのメッセージ

### 松村先生よりメッセージ

2022年4月より2026年3月まで客員教員として勤めさせていただきました。その間、前センター長の安河内先生、現センター長の久枝先生、福岡学習センターおよび北九州サテライトスペースの職員の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

放送大学では、ステップアップセミナー、英語ゼミ、面接授業を担当させていただきましたが、幅広い世代の受講生が熱心に授業を受講しておられる様子に、私自身も「人生まだまだこれからだ!」と新たなことに取り組む決意をさせてもらいました。英語ゼミでは、この授業を担当しなければ読むこともなかったであろう *World Health Statistics* 等の文献を読んで新しいことを学ぶことができたこと、ステップアップセミナーでは、日英語対照言語学や(イン)ポライトネス等の研究をどのようにすれば受講生の皆さんに楽しんで理解してもらえるかを考える機会を与えられたこと、また面接授業では、SDGsやHeadline Storiesのような内容について幅広い世代の受講生と一緒に学ぶことの意義などを教えていただいたことに、改めて感謝申し上げます。

在学生の皆さんが、今後も様々なことに興味をもって学び続けられることを心より願っております。長い間有難うございました。



九州大学名誉教授  
松村 瑞子

### 田淵先生よりメッセージ

放送大学福岡学習センターでは2021年度から25年度までの5年間、放送大学福岡学習センターの客員教員を無事に務めることができました。客員教員を引き受けさせていただいたときは、放送大学のイメージはとて漠然としていました。5年経った今では、具体的にこの大学の意義を実感でき、また私自身が学ぶことの根本的な意味を考え直す機会を与えていただけたように思います。面接授業では、年齢も人生経験も全く異なる人たちが一つの部屋に集まり、ただ教養を高めたいという思いから熱心に授業を聴講されている姿を間近に見てきました。そこは、人は誰も食事や睡眠をとるのと同じように、新しいことを知ることを人生の肥しにしているのだということ、体感覚で知ることのできる場でした。放送大学の客員教員になった経験を通じて、私自身、本務校において、純粹に知識として法学に興味を持つ他学部学生にも法学を教えたいと思うようになりました。福岡学習センターの所長はじめスタッフの皆様には、こうした貴重な機会を与えていただいたことに、心より感謝申し上げます。客員教員は終わりますが、面接授業は来年度も担当いたしますので、引き続き宜しく願いいたします。



九州大学大学院教授  
田淵 浩二

### 堀井先生よりメッセージ

学ぶことの意味を最近よく考えます。ChatGPTやGeminiなどの生成AIが向上し、コトコト文献を読み漁りながら自分のモノの見方というレンズを磨くこれまでの学びの形が急速に色あせています。自前のレンズを持たなくても、生成AIに質問を投げかければほんの数秒でネット上にある何十もの記事を要約し、論理的に整った文章で回答を返してきます。現時点で生成AIの知能は大学学部生を凌駕したという評価があるのもむべなるかな、です。

それでも人が学び続ける理由は、独創的な問いを発する力と学びそのものを楽しむ心を身に着けることではないかと思います。まだ誰も足を踏み入れていない問いを見出すには自分で様々なことを学び、そこから思考を発展させるプロセスを続けるしかありません。また生成AIに小さな問いをいく回回答させても学びを楽しむ心は生まれず、学問体系を学び、自分のレンズを手に入れた時に楽しみが生まれるのだと思います。放送大学で客員を務めさせて頂いた5年間、受講生の方々に学びそのものを楽しむ心を見つけ、その尊さに感じ入ることがしばしばありました。とてもいい経験をさせて頂き、御礼申し上げます。



九州大学大学院准教授  
堀井 伸浩

# 講演会・セミナーについて

## 客員教員によるステップアップセミナー

福岡学習センター客員教員による公開講演会です。どなたでも無料でご参加いただけます。

【福岡学習センター会場】(北九州サテライトスペースでZoomにより参加できます)

※参加申込受付:6月4日(木)から開始(先着順→各定員50名)

申込みはこちらから▶



開催日	時間・講師名	演題
7月4日(土)	<b>立花 宏文</b> 九州大学大学院 主幹教授 (13:00~15:00)	<b>食の健康効果</b> 食品に生体調節作用があるとする世界に先駆けた研究が本邦において開始されてから40年余、さまざまな食の健康効果が明らかになりました。本セミナーでは食品の生体調節作用とそのしくみに関するトピックスを紹介します。

【福岡学習センター会場】(北九州サテライトスペースでZoomにより参加できます)

※参加申込受付:6月12日(金)から開始(先着順→各定員50名)

申込みはこちらから▶



開催日	時間・講師名	演題
7月12日(日)	<b>分部 利紘</b> 西南学院大学 准教授 (10:00~12:00)	<b>判断と決定の心理学</b> 私たちは日々、様々な判断や決定を行っています。何を食べるか、このセミナーを受講するか、将来何になるかなどなど。一方で、私たちはしばしば合理的とは言にくい判断や決定を下し、後悔することも少なくありません。本セミナーでは心理学的知見をもとに、私たちの判断や決定について振り返る機会にしたいと思います。
	<b>金子 周平</b> 九州大学大学院 准教授 (13:00~15:00)	<b>グループアプローチから学ぶ集団の心理学</b> 臨床心理学の領域で行われてきた集団精神療法や各種のグループアプローチを紹介します。そこには日常生活における集団を捉え、集団のなかで生じる心理学的な変化を理解するヒントが多くあります。集団生活は家庭や仕事、地域の活動など、とても身近なものです。そうした集団の理解を臨床心理学的に深めていきませんか。

【福岡学習センター会場】(北九州サテライトスペースでZoomにより参加できます)

※参加申込受付:7月1日(水)から開始(先着順→各定員50名)

申込みはこちらから▶



開催日	時間・講師名	演題
8月1日(土)	<b>南里 豪志</b> 九州大学 准教授 (10:00~12:00)	<b>プログラミングの基本</b> 簡単な物理シミュレーションプログラムを作りながら、変数、計算、繰り返し、条件分岐、といったプログラミングの基本を紹介します。2025年度の「プログラミングのはじめ方」の内容と重複があります。パソコンまたはタブレットと、学外の方はポケットWiFiなどを持参してください。定員は福岡会場20名、北九州会場10名です。
	<b>萩島 理</b> 九州大学大学院 教授 (13:00~15:00)	<b>脱炭素時代の“快適な家”入門:省エネと健康を両立する住まいの科学</b> 気候変動による猛暑の増加や光熱費高騰を背景に、住まいには脱炭素と健康・快適の両立が求められています。本講演では、伝統的な民家や町屋、団地から現代のZEH(ゼロエネルギーハウス)まで、住まいの姿の変遷を省エネ・環境の観点で読み解きながら、健康快適で脱炭素な住宅のポイントを解説します。

【福岡学習センター会場】(北九州サテライトスペースでZoomにより参加できます)

※参加申込受付: 8月7日(金)から開始(先着順→各定員50名)

申込みはこちらから▶



開催日	時間・講師名	演 題
9月12日(土)	村木 里志 九州大学大学院 教授 (10:00~12:00)	<b>身近すぎて見落としがちな「階段」のあれこれ話</b> 身近な移動手段の一つである階段は、生活の中で当たり前の存在となっている一方で、その形や高さ、使い方に目を向ける機会は多くありません。本講演では、人間工学を専門とする立場から階段をさまざまな視点で捉え直します。転倒や体力づくりとの関係に加え、知っているふと話題にしたくなるような豆知識も交えながら、日常の見え方が少し変わるきっかけをお伝えします。

**申込方法** Googleフォーム、電子メール・FAX・または電話のいずれかの方法により、次の5項目をお知らせください。

- ①参加希望セミナー名 ②参加会場(福岡または北九州) ③申込者氏名(ふりがな)  
④連絡先(TEL) ⑤申込者属性(在学生・一般)

**申込先** 放送大学 福岡学習センター

メール: fukuoka-koen@ouj.ac.jp (セミナー申込受付専用アドレス)  
電話: 092-585-3033 FAX: 092-585-3039 ※定員になり次第締め切ります。

## 大学院入試のための英語ゼミ

松村瑞子先生による英語ゼミ「放送大学大学院入試問題の英文を読み解く」を下記日程で開催いたします。どなたでもご参加いただけます。(定員30名※先着順)

### 【福岡学習センター 5F 講義室 I】

日 時	ゼ ミ 内 容
第1回 9月12日(土)	放送大学の大学院入学試験問題の中から松村先生が厳選した英文を精読します。 実際に受験する方だけでなく、学術的な英文の読解に興味のある方の受講も歓迎します。受講申込者には、キャンパスメールに教材資料をお送りしますので、事前に目を通しておいてください。
第2回 9月19日(土)	
時間: 13時30分~15時30分	

**申込期間** 8月7日(金)~9月11日(金) (※定員になり次第締め切ります。)

**申込方法** Google フォーム、電子メールまたは、電話のいずれかの方法により受け付けます。氏名、学籍番号、連絡先(学外の方は電子メールアドレスも)を学習センターにお知らせください。

**申込先** 放送大学 福岡学習センター  
E-mail: fukuoka-koen@ouj.ac.jp TEL: 092-585-3033 FAX: 092-585-3039

お申し込みは、こちらから▶



# 事務室からのお知らせ

## <重要> キャンパスメール (Gmail) について

「キャンパスメール」は、Webブラウザを利用した電子メールシステムで、学生全員にメールアドレスが割り振られています。福岡学習センターから修学関連の連絡を随時いたしますので、定期的にキャンパスメールを確認して頂きますようお願いいたします。

## アクセス方法

※画像はパソコンの例です。スマホやタブレットの方は、Gmailのアプリから入ってください。

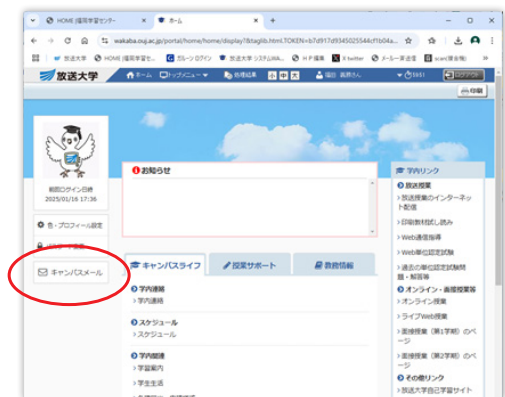
- ①福岡学習センターウェブサイトトップ画面右の「システムWAKABA」をクリック。
- ②ログインをクリックします。



- ③ログインIDとパスワードを入力。



- ④システムWAKABAトップ画面 左下「キャンパスメール」をクリック。





### 通信指導の提出について

2024年度第2学期から、原則Web通信指導による提出(郵送提出科目を除く。)となりました。そのため、問題冊子の送付はありません。通信指導問題は、システムWAKABAの「授業サポート⇒授業共有ファイル」にて4月上旬から確認できます。通信指導とは、一定の範囲で出題される問題を解き、その答案を大学本部へ提出して添削指導を受けることです。この添削結果により単位認定試験の受験資格が得られます。**通信指導が不合格または未提出の方は単位認定試験を受験できません。**

提出方法: Web通信指導による提出  
(一部、郵送提出科目を除く。)  
提出期限 5月 7日(木)10:00～  
5月27日(水)17:00

\*詳しくは「学生生活の葉」(教養学部 P68～74、  
大学院 P73～78)をご覧ください。

【大学本部連絡先】 Tel:043-276-5111 (総合受付)

### 単位認定試験について

1. 単位認定試験は、自宅等からインターネットを通じてWeb 単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出(送信)を行うWeb受験方式で実施されます。

- Web受験方式では、1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)
- 科目毎に「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」の何れかの形式で出題されます。
- 試験日程は、試験の実施方法(web/郵送)および出題形式(択一式/記述式/併用式)によって試験期間が異なります。

実施方法	出題形式	試験日程(郵送は提出期間)
Web試験	択一式科目	7月14日(火)9:00～7月22日(水)17:00
	記述式・併用式科目	7月14日(火)9:00～7月18日(土)17:00
郵送試験	すべての出題形式	7月14日(火)～7月18日(土) (本部必着)

※「行政学講説('24)」、「正多面体と素数('21)」、「日本美術史の近代とその外部('18)」、「量子化学('19)」の4科目は、「郵送受験方式」です。

### 2. Web単位認定試験体験版の操作及び個別の操作説明の実施について

Web単位認定試験システムの体験版が、システムWAKABAにおいて利用可能です。受験に使用する予定のパソコン等から、試験期間前までに必ず体験版の操作を行ってください。

なお、自宅での操作体験が困難な方は、福岡学習センター及び北九州サテライトスペースにおいて個別に操作説明を行います。希望する方は、事前予約をお願いいたします。

【福岡学習センター 092-585-3033 北九州サテライトスペース 093-645-3201】

### 3. 自宅等でのWeb受験が困難な方について【要申請】

ご自宅等にインターネット環境がない、パソコン等操作が困難等のご事情により自宅等でのweb受験が困難な方は、下記のとおり申請を行うことで、単位認定試験を学習センター等で受験することが可能です。

- ・学習センター等で受験する場合、「授業科目案内」およびシステムWAKABAに記載の試験日・時間に受験する必要があります。
- ・学習センターで受験する場合でも、原則として「問題の閲覧」および「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます。(記述式の解答のみ解答用紙で行います。)
- ・郵送受験科目については、パソコン等は使用しないため、学習センターでの単位認定試験は実施しません。
- ・学習センターで受験希望の方は、以下により申請願います。

#### 《申請方法》

##### ●システムWAKABAで変更手続き

「教務情報→変更・異動手続き→単位認定試験受験場所変更」

##### ●郵送提出の場合

「2026年度 学生生活の葉」巻末に付属する(単位認定試験受験場所変更願[巻末様式15])にご記入の上、申請期間内に下記あて先に郵送してください。

申請先：〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11 放送大学学務部学生課単位認定試験係

申請期間：2026年4月6日(水)～2026年5月27日(水)《必着》

#### 4.心身等に障がいのある方で、自宅等でのWeb受験が困難な方への配慮について(修学上の合理的配慮)

修学上の合理的配慮は、希望者と本学(所属学習センター)とが相談・協議の上、決定されるものです。詳細は放送大学ウェブサイトをご参照いただくか、所属学習センターまでご相談ください。

#### 学生証の交付・更新について

学生証は、福岡学習センター及び北九州サテライトスペースの窓口で交付しています。

(福岡学習センター所属の方は福岡学習センターで、北九州サテライトスペース所属の方は北九州サテライトスペースでの交付となります。)

新規及び継続入学の方は「入学許可書」を、全科履修生で有効期限切れ更新の場合は、「旧学生証」を提示してください。

なお、顔写真が未登録の場合、学生証は発行できません。システムWAKABAまたは郵送により手続きを行ってください。(詳しくは、「学生生活の葉」、教養学部はP23～25、大学院はP35～38をご覧ください。)

#### 学割証について

全科履修生及び修士・博士全科生に限り、学割証を発行しています。自宅「最寄り駅」から福岡学習センターまたは北九州サテライトスペースに通学する場合等に申し込むことができます。なお、交通機関によって発行できる条件、割引率等が異なります。詳細は福岡学習センター発行の「利用の手引」(P31)および「学生生活の葉」(教養学部P130～131、大学院P129～130)をご覧ください。

#### 学習相談について

福岡学習センター・北九州サテライトスペースでは、学習の方法や進め方、修学上の相談などを所長や客員教員、事務職員(相談内容により担当が決まります)がお受けしております。相談を希望される場合は、福岡学習センターのウェブサイトに掲載された「学習相談票」またはお電話により、お気軽にお申し込みください。

## 住所・電話番号変更手続きのお願い

転居などにより、ご自宅の住所や電話番号が変更になった場合は、大学本部や学習センターからの郵便物が届かなくなるなど、大切な連絡をお伝えすることができなくなりますので、システムWAKABAまたは住所等変更届により必要な手続きを行っていただくようお願いいたします。

## 電話番号のおかけ間違いにご注意ください

お問い合わせの際に、間違い電話が多数発生しており、電話のかかったご家庭に多大なご迷惑をおかけしておりますので、福岡学習センターの電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようお願いいたします。

## 九州大学キャンパス開放（オープンキャンパス）の開催について

今年も、福岡学習センターが所在する九州大学筑紫キャンパス内において、九州大学キャンパス開放（オープンキャンパス）が5月23日（土）に開催されることになりました。

福岡学習センターからは、サークルの紹介や福岡同窓会による印刷教材古本市を行う予定です。

詳細は、福岡学習センターのウェブサイトをご参照ください。

使わなくなった  
印刷教材を  
募集しています！  
※閉講科目OK ※返却しません

**送り先**  
放送大学  
福岡学習センター  
※封筒に「古本在中」と  
明記ください。

## 放送大学福岡学習センター X（旧 Twitter）のお知らせ

放送大学福岡学習センター・北九州サテライトスペースのウェブサイト更新情報などを発信しています。

下記URLで閲覧できますので、ぜひご確認ください。フォローをすると、ウェブサイト更新の通知を受け取ることができます。

### 【放送大学福岡学習センター X（旧 Twitter）】

URL:<https://twitter.com/fukuokacenter>

アカウント:@fukuokacenter



### 【フォロー方法】

- ①上記URLから放送大学福岡学習センターのXにアクセス
- ②アカウントをお持ちの方はログイン、お持ちでない方はアカウントを作成し、「フォローする」をクリック

# ☆ ご卒業おめでとうございます ☆

2026年3月22日に福岡学習センターで2025年度第2学期卒業証書・学位記授与式が行われました。福岡学習センター・北九州サテライトスペースから教養学部105名、文化科学研究科7名の方が卒業・修了されました。おめでとうございます。

教養学部.....	105名	大学院.....	7名
生活と福祉コース.....	20名	生活健康科学プログラム.....	3名
心理と教育コース.....	49名	人間発達科学プログラム.....	4名
社会と産業コース.....	11名		
人間と文化コース.....	13名		
情報コース.....	5名		
自然と環境コース.....	7名		



## 卒業生からのメッセージ

自然と環境コース 大田 憲子



今日の良き日に卒業を迎える、20歳から80歳代の112名の卒業生・修了生は、並々ならぬ努力を重ねてきました。しかし、単位認定試験の可否については、多分に運に左右されることはあったかと思えます。

さて、皆さんは、2020年1月から始まった新型コロナウイルス感染症と、どのように付き合ってきたのでしょうか？

ご承知の通り、コロナの影響で、対面で出来ることが少なくなりました。単位認定試験が、学習センターから自宅受験になったり、面接授業がカットされたり、人と人の関りを困難にすることが続いています。そんな中でも、なれないことにチャレンジしながら、この状況に順応せざるを得ませんでした。だからこそ、今日頂いた賞状の重みをヒシヒシと感じています。

今年の卒業生、修了生は、圧倒的に五十歳代の方が多いと聞きました。又、女性の割合は六割を超えるとも聞きました。放送大学の特徴と言えるかもしれません。

男女共同参画・ワークライフバランスといった働き方改革の元で、学問や物事に対する探究が特別なことではなく、ちょっとだけ自ら扉を押す努力をすることでその先に新しい世界が待っていると云えるでしょう。私も、ワクワクしながら職業欄の学生の枠にチェックを入れるようになったのは、69歳の春でした。

あれから10年。今日、5回目の卒業式を迎えることができました。習得した知識と、努力に裏付けされた自信と、持ち続けてきた向上心で、扉の先で待っている新しい世界を楽しみたいと思います。

今日の卒業式を共に楽しみにしていた友がいます。入学の時期も、目指すコースも違った友でしたが、放送大学を愛する気持ちはお互いに負けていませんでした。残念なことに、昨年の秋、病に倒れ、志半ばで旅立ってしまいました。その友が愛して止まなかった、筑紫キャンパスに春が戻ってきます。正門から続くサクラ並木、研究棟の小さな庭に咲いている一本の薄墨サクラ。そして、あなたが折々にアルバムに収めた色とりどりの花々と風景。来年も再来年も、ずっと、このキャンパスに見守られて巣立ってゆくであろう学友たちにエールを送ります。そして、諸先輩たちが創り上げた伝統を更に継承していきたいと思えます。

今日の卒業式を迎えることができたのは、関係の皆様が支援があってこそです。家族の支えや諸先生方の叱咤激励あってこそでした。感謝申し上げます。

最後になりますが、放送大学の今後が増々のご発展を祈念して、謝辞とさせていただきます。



# 卒業生からのメッセージ

生活と福祉コース 60代男性

自分の専門とは異なる勉強ができて知識の幅と量が増え、よ知的な好奇心を強く持つようになった。高校時代日本史を学ぶ機会がなかったので、今後そういう方面の勉強も進めたいと思っている。これまでの講義では宮沢賢治と天文学のかかわりを扱ったものが一番最近では興味深かった。

心理と教育コース 30代男性

転職の為に大卒資格取得の為、私の場合は3年次編入を選ばれました。しかし学んでいくうちにもう少し長い期間をかけてじっくり勉強をしたかったという学習意欲が生まれたこと、新たに取得していきたい資格などが見つかりこれからは別の資格取得に向け専門学校を検討しております。今は少しバタバタしておりますが、また落ちついた頃に再入学したいと考えております。スタートラインは常に誰でも足元にあり何歳からでも学ぶことができるのが放送大学の魅力だと私は思います。

社会と産業コース 20代男性

放送大学での学びを通して、知識を得るだけでなく、自分自身の生活や個性と向き合いながら、計画的かつ主体的に学ぶ力を養うことができたと感じています。また、先生方や事務職員の皆様が常に親切に接してくださり、安心して学習に取り組める環境が整っていたことも、大きな支えとなりました。これらの経験は、今後の人生においても大きな財産となるものです。この学び舎で学ぶ機会を得られたことに心より感謝しております。

自然と環境コース 20代女性

私は放送大学に入学した当初、法律関係だけを学び卒業するつもりだったが、科目案内の冊子を眺めた際に他の学問分野にも興味が出てきた。結局全コースの科目からその時の自分の興味に合わせて履修し、卒業するまで様々な学問を楽しんだ。教養学部という放送大学ならではの特色を活用し知的な好奇心を満たす喜びを堪能した。

人間発達科学プログラム 30代女性

働きながらの修士全科生ということで、とても不安が大きかったです。実際に、働きながら研究を行ったり単位を修得することは、容易ではなかったですが、ゼミの担当教授、TAの方のご指導とゼミの仲間と助け合いのおかげで修了することができました。30代になって同じ志を持った仲間に出会え、研究について議論し悩みながらも納得のいく論文が仕上がりました。放送大学の大学院で学ぶことができよかったです。本当に充実した2年間でした!!

生活と福祉コース 70代女性

放送大学で学び始めて30年以上になります。レポートもテストも年中行事のように、日常生活にしっかり組み込んでいます。放送大学で学んだことをアウトプットするべく地域を始め、いろいろな方面でのボランティア活動(市民後見人や日本語サポーター等)を行っています。自分が学んだことを社会に還元できるようになったこと(リタイア後)は、大変うれしく思っています。まだまだ学び続けたいと思います。

心理と教育コース 20代女性

通常の授業から定期試験にいたるまで、常に自分のペースで受講し、学び続けられる点がとても魅力的でした。自由度が高い分、計画性や実行力を身に付けることができたようにも感じます。また、一流の先生方による授業はどれも楽しく、自コースだけでなく他コースにも興味をそそられる科目が多くあり、卒業までに全ては受講できないほどでした。機会が許せば再入学し、学びを深めていきたいです。お世話になり、ありがとうございました!!

人間と文化コース 50代女性

生活と福祉コースを卒業したときは、パンデミックで卒業式へ行くことができませんでした。日本語や外国語にも興味があり再入学してから今回人間と文化コースで卒業します。言語・非言語を問わずメッセージを人に伝える醍醐味はすばらしく、伝わった時の相手の表情や空気感は、「伝え手」「受けとり手」によって無限に広がります。状況に応じて「間」や「距離」を調整し「和」を図ることを学びました。のこり4コース、学びはまだまだ足りません。自分のペースで学び続けたいと思います。

生活健康科学プログラム 20代男性

学術の世界に身を置いたことで、多角的な視点が養われ、統計等のスキルは現職のスタートアップでの実践に直結しています。両立は多忙を極めました。その分、同世代を凌ぐ成長を実感できました。将来のキャリアが起業に向けた揺るぎない「核」を築くことができた。極めて貴重な研鑽の時間となりました。



# ◆ 5月～9月のスケジュール ◆

## 5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

### 5月の行事・お知らせ

7～27日 通信指導提出期間  
(原則Web:17時まで、郵送:本部必着)

## 6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

### 6月の行事・お知らせ

10日 2026年度第2学期入学生出願受付開始(第1回)  
(教養学部、大学院修士選科生、修士科目生)(~8/31)

## 7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

### 7月の行事・お知らせ

14～22日 単位認定試験

4日 ステップアップセミナー  
12日 ステップアップセミナー

## 8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

### 8月の行事・お知らせ

15～31日 2学期科目登録期間(郵送の場合は8/30)

1日 ステップアップセミナー  
12～15日 臨時閉所日  
15～25日 2027年度大学院修士全科生・博士全科生出願受付

## 9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

### 9月の行事・お知らせ

1日 2026年度第2学期入学生出願受付開始(第2回)  
(教養学部、大学院修士選科生、修士科目生)(~9/9)

12日 ステップアップセミナー

26日 学位記授与式(福岡学習センター)

■=閉所日 ●=面接授業(福岡) ◆=面接授業(北九州) ■=ライブWeb授業

### 放送大学福岡学習センター

〒816-0811 春日市春日公園6-1  
(九州大学筑紫キャンパス内E棟4・5階)  
TEL:092-585-3033

### 放送大学北九州サテライトスペース

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3  
(コムシティ3階)  
TEL:093-645-3201



ウェブサイト



X(旧Twitter)

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようお願いいたします。

放送大学福岡学習センター 検索  
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukuoka/>